

京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書

2025年 9月 12日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会 長 藤 洋 作 様

所属部局・研究科 教育学研究科

職 名・学 年 博士課程後期3年

氏 名 阿部 由香梨

助 成 の 種 類	令和7年度 ・ 国際研究集会発表助成		
研 究 集 会 名	JURE/EARLI 2025		
発 表 形 式	☐ 招 待 ・ ☐ 口 頭 ・ ☒ ポスター ・ ☐ その他(		
発 表 題 目	Teaching Secondary EFL Students to Use Diagrams to Organise Thoughts Before Writing		
開 催 場 所	グラーツ大学 (University of Graz), グラーツ、オーストリア		
渡 航 期 間	2025年 8月 21日 ～ 2025年 9月 1日		
成 果 の 概 要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度で作成し、添付して下さい。 「成果の概要」以外に添付する資料 有 (ベストポスター賞ノミネート資料)		
会 計 報 告	交 付 を 受 け た 助 成 金 額	350,000 円	
	使 用 し た 助 成 金 額	350,000 円	
	返 納 す べ き 助 成 金 額	0 円	
	助 成 金 の 使 途 内 訳 (差し支えなければ要した 経費総額をご記入ください)	費 目	金額(円)
		航空運賃	285,970
		宿泊費	
		滞在費	
学会参加費		75,074	
その他			
以上に助成金を充当			
当財団の助成についで	他の助成と異なり、併用可や宿泊費の制限がないことなど、比較的自由に支出させていただける点が非常に助かりました。一点だけ意見を述べさせていただくと、昨今の物価高と円安、中東や東欧の情勢不安により、安全に渡航できるルートが限られ、ヨーロッパに渡航すると航空券だけで30万円近くかかることが多いようでした。私の場合は不足分を科研費の残りから支出することができましたが、ヨーロッパの学会は参加費も高額なので、研究費のない場合航空券・宿泊費・参加費の全てを賄うことが厳しいケースもあるかもしれません。もし可能であれば、少なくともヨーロッパ渡航に係る助成額を引き上げていただけると、渡航しやすい学生が増えるのではないかと感じられました。		

1. JURE/EARLI 2025 概要

JURE/EARLI は教育研究に関する国際学会であり、ヨーロッパ各国を中心に教育学・心理学・言語教育をはじめとした各種教科教育など多様な分野の研究者が参加する。JURE は PhD 取得後 2 年以内までの若手研究者を対象とした部門であり、EARLI 本会議と連続して開催される。申請者は 3 度目の参加であるが、本年度も思考力育成・学習者支援・教師支援に関する発表が多く行われ、国際的な視座から研究を議論する充実した機会となった。

2. 参加の成果

研究へのフィードバック

ポスター発表の内容は「diagram による思考の整理を行った後に英語ライティング指導を行うことで、教師・生徒の双方が課題の所在（思考か英語か）を診断できるようにする」というものであった。この点について、日本以外（主にヨーロッパ）の視点からいくつか重要なフィードバックを得た。第一に、ヨーロッパの研究者は「思考と言語の関係性をどのように理論化しているか」を強調しており、単なる指導技法に留まらず、学習者が複数言語で思考を展開することの意義を検討する必要があるとの指摘を受けた。第二に、ダイアグラム指導の手法が教師教育においてどのように活用可能かに関心が示され、授業改善だけでなく教師研修プログラムへの応用可能性が指摘された。第三に、言語教育以外の教科（理科・社会科など）での応用可能性についても意見があり、研究成果の汎用性を検証することの重要性を議論した。これらは今後の研究の一般化可能性を高める上で有益な視点であった。残念ながら受賞は逃したが、本発表は多くのポスター発表者の中からベストポスター賞にノミネートされた（添付資料参照）。

国際的なネットワーキング

申請者は 11 月に研究のためオーストラリアの大学に渡航する予定があったが、同大学の別の部局に所属し、似た取り組みを行っている研究者たちと新たに知り合うことができた。そして、渡航時に彼らが主催するシンポジウムで発表することが決まった。また、教師と研究者の共同研究、教師研修、批判的思考などの研究関心を共有する研究者とも多数交流することができた。これにより今後の共同研究の可能性が広がり、国際的な研究ネットワーク形成に資する成果を得た。

3. 財団への御礼

このたびの国際学会参加助成により、最新の研究成果に直接触れ、国際的な研究者との交流を深める貴重な機会を得ることができた。財団からのご支援がなければ実現できなかった経験であり、心より感謝申し上げる。この経験から、ここで得た知見と人的ネットワークを活かし、日本の教育研究および教員養成に還元していく決意を新たにした。

参考資料

1. ベストポスター賞ノミネーションの連絡

Dear Yukari and Emmanuel ,

Congratulations!

On behalf of the JURE 2025 International Organising Committee, I'm delighted to inform you that you have been shortlisted for the Best of JURE Poster Award, offered to the best presentations at JURE 2025!

Your poster was one of the highest scoring proposals after review, now shortlisted for this award which comes in the form of a free JURE membership for 2026.

An international jury will attend your presentation, as well as those of the other nominees, to determine the winner of this award.

The award winners will be announced at the JURE 2025 Closing Ceremony.

We hope that you can be in attendance and look forward to your presentation!

Very best wishes,

Alice

on behalf of the EARLI 2025 Organising Committee

2. 授賞式スライド

